

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2018年10月4日(04.10.2018)



(10) 国際公開番号

WO 2018/179461 A1

(51) 国際特許分類:
A44B 19/36 (2006.01)

(21) 国際出願番号: PCT/JP2017/020907

(22) 国際出願日: 2017年6月6日(06.06.2017)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願 2017-063090 2017年3月28日(28.03.2017) JP

(71) 出願人: Y K K 株式会社(YKK CORPORATION)
[JP/JP]; 〒1018642 東京都千代田区神田和
泉町1番地 Tokyo (JP).

(72) 発明者: 越湖 智之(EKKO Tomoyuki); 〒9388601
富山県黒部市吉田200番地 Y K K 株式会社
黒部事業所内 Toyama (JP). 犬飼 孝幸(INUKAI
Takayuki); 〒9388601 富山県黒部市吉田200
番地 Y K K 株式会社 黒部事業所内 Toyama (JP).
吉本 衣江(YOSHIMOTO Kinue); 〒9388601 富
山県黒部市吉田200番地 Y K K 株式会社 黒

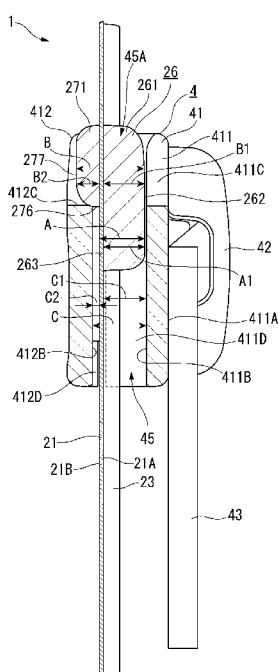
部事業所内 Toyama (JP). 宮井 真梨子(MIYAI
Mariko); 〒9388601 富山県黒部市吉田200番
地 Y K K 株式会社 黒部事業所内 Toyama (JP).

(74) 代理人: 特許業務法人樹之下知的財産事務所
(KINOSHITA & ASSOCIATES); 〒1670051 東
京都杉並区荻窪五丁目26番13
号3階 Tokyo (JP).

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保
護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ,
BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH,
CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO,
DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT,
HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, KE, KG, KH, KN,
KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA,
MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA,
NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA,
RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM,
ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG,
US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

(54) Title: SLIDE FASTENER

(54) 発明の名称: スライドファスナー



(57) Abstract: A top stop (26) of this slide fastener (1) has a top-stop front surface (261) and a top-stop rear surface (271) that is contiguous to the top-stop front surface (261). The top-stop front surface (261) is attached to the front surface (21A) of a fastener tape (21). The top-stop rear surface (271) is attached to the rear surface (21B) of the fastener tape (21). The top-stop rear surface (271) is characterized by being disposed to face a slider (4) in the slide direction thereof in such a manner as to be capable of coming into contact with the slider (4).

(57) 要約: スライドファスナー (1) の上止 (26) は、上止表面部 (261) と、上止表面部 (261) に連続した上止裏面部 (271) を有する。上止表面部 (261) は、ファスナーテープ (21) の表面 (21A) に付着される。上止裏面部 (271) は、ファスナーテープ (21) の裏面 (21B) に付着される。上止裏面部 (271) は、スライダー (4) のスライド方向において当該スライダー (4) に当接可能に対向して配置されることを特徴とする。

WO 2018/179461 A1

(84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第21条(3))

明 細 書

発明の名称： スライドファスナー

技術分野

[0001] 本発明は、ファスナーエレメント列の一端部に上止が取り付けられたスライドファスナーに関する。

背景技術

[0002] 従来、スライドファスナーにおいて、ファスナーテープの対向側縁に沿って取り付けられたファスナーエレメント列の上端部に合成樹脂製の上止が射出成形されたスライドファスナーが知られている（特許文献1参照）。

[0003] この上止は、ファスナーテープの表面側にある表面部およびファスナーテープの裏面側にある裏面部とを有しているとともに、ファスナーテープの対向側縁を跨いで形成されているので、例えば裏面がない上止と比べて、ファスナーテープから剥れにくい構成となっている。

[0004] また、上止は、スライダーを抜け止めするストッパーとして機能する構成を備えている。具体的には、スライドファスナーの左右方向においてファスナーエレメントの噛合頭部側に位置する上止の外側面には、左右方向外側に膨出した膨出部が形成されており、左右方向において前記外側面とは反対側に位置する内側面には、左右方向内側に突出した突部が形成されている。

この上止では、スライドファスナーのスライダーがスライドしてファスナーエレメント列の上端部に配置された場合、上止の膨出部がスライダーの胴体の左右方向における中間位置に形成された案内柱に当接し、かつ、上止の突部がスライダーの胴体の左右のフランジに当接することで、スライダーのスライドを規制する。

先行技術文献

特許文献

[0005] 特許文献1：特開2007-50234号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0006] ところで、特許文献１に記載のスライドファスナーでは、その上止が、ファスナーテープから剥れにくくするための裏面部と、前述した膨出部および突出部などのストッパーとして機能する構成とを別部分の構成として有しているもので、上止が大きくなりがちであった。

[0007] 本発明の目的は、ファスナーテープから剥れにくく、かつストッパーとして機能する上止を従来よりも小さくすることができるスライドファスナーを提供することにある。

課題を解決するための手段

[0008] 本発明のスライドファスナーは、ファスナーテープおよび前記ファスナーテープの側縁部に沿ったファスナーエレメント列を有した一対のファスナーストリンガーと、前記各ファスナーエレメント列に連結されるスライダーとを備え、前記各ファスナーエレメント列の一端部に上止がそれぞれ配置されたスライドファスナーであって、前記上止は、上止表面部と、前記上止表面部に連続した上止裏面部を有し、前記上止表面部は、前記ファスナーテープの表面に付着され、前記上止裏面部は、前記ファスナーテープの裏面に付着され、前記上止裏面部は、前記スライダーのスライド方向において前記スライダーに当接可能に対向して配置されることを特徴とする。

[0009] 本発明のスライドファスナーによれば、上止が、ファスナーテープの表面および裏面に付着された上止表面部および上止裏面部を有しているので、例えば上止裏面部がない上止と比べて、上止をファスナーテープから剥れにくい構成にできる。また、スライダーがスライドしてファスナーエレメント列の一端部に配置される場合には、スライド方向においてスライダーに対向して配置された上止裏面部が当該スライダーに当接するので、当該スライダーのスライドを規制できる。このように、上止裏面部の構成によって、ファスナーテープから剥れにくくでき、かつストッパーとして機能させることができるので、ファスナーテープから剥れにくくする構成とストッパーとして機能する構成とを別部分で構成する必要がなくなり、上止を小さくすることが

できる。

- [0010] 本発明のスライドファスナーでは、前記上止表面部は、前記ファスナーエレメント列の一端部を構成するエレメントが埋め込まれた保持部と、前記上止の厚さ方向において前記上止裏面部と対向した対向部とを有し、前記保持部および前記対向部は、前記スライド方向において異なる位置に配置されていることが好ましい。

このような構成によれば、スライド方向において保持部と異なる位置に配置された対向部の裏側に上止裏面部が対向して配置されるので、エレメントが埋め込まれた保持部よりもファスナーテープから剥れやすい対向部を上止裏面部によって補強でき、この対向部がファスナーテープから剥れることを抑制できる。

- [0011] 本発明のスライドファスナーでは、前記対向部は、前記スライド方向において前記保持部よりも前方に配置されていることが好ましい。

このような構成によれば、スライダーが上止裏面部に当接した状態で上止表面部のうち対向部よりも前記スライド方向において後方に位置する部分をスライダー内に収めることができる。

- [0012] 本発明のスライドファスナーでは、前記ファスナーテープの表面のうち前記保持部が付着された部分に対向する裏面の部分は、露呈していることが好ましい。

このような構成によれば、エレメントが埋め込まれてファスナーテープから剥れにくい箇所である保持部の裏側から上止裏面部をなくすことができ、上止を小型化できる。

- [0013] 本発明のスライドファスナーでは、前記上止表面部は、前記ファスナーテープの幅方向外側に配置された外側面と、前記ファスナーテープの幅方向内側に配置された内側面とを有し、前記上止裏面部は、前記上止表面部の外側面側から前記上止表面部の内側面側に向かって延出して形成され、前記上止裏面部の先端は、前記上止の厚さ方向において前記上止表面部の内側面に沿った位置に配置されていることが好ましい。

このような構成によれば、上止裏面部の先端が、上止の厚さ方向において上止表面部の内側面に沿った位置に配置されているので、ファスナーテープの幅方向において上止表面部および上止裏面部のうちの一方が他方に対して突出した部分が形成されなくなる。このように突出した部分を形成しないので、当該突出した部分に付着されたファスナーテープの部分が上止表面部および上止裏面部の他方に支えられずに剥れてしまうことがなくなる。

[0014] 本発明のスライドファスナーでは、前記上止裏面部は、その基端側から前記先端側に向かうに従って幅が広がっていることが好ましい。

このような構成によれば、上止裏面部の先端側は、上止表面部と連続している基端側から離間しているため、上止裏面部の基端側と比べてファスナーテープからの剥れにくさが低下するが、上止裏面部の先端側における幅寸法を大きくしてファスナーテープに対する付着面積を広げることで、上止裏面部の先端側の部分をファスナーテープから剥れにくくできる。

[0015] 本発明のスライドファスナーでは、前記上止裏面部は、その基端側から前記先端側に向かうに従って前記スライド方向において後方に位置する形状となっていることが好ましい。

このような構成によれば、スライダーがスライドファスナーを閉めるスライド方向に移動され、前記上止裏面部に当接すると、各上止には、そのスライド方向前方側がファスナーテープの幅方向内側に向かうとともに、そのスライド方向後方側がファスナーテープの幅方向外側に向かう回転力が生じて、上止のスライド方向後方側同士でスライダーの案内柱部413を挟み込むので、スライダーのガタツキを抑制できる。

[0016] 本発明のスライドファスナーでは、前記スライダーは、前記各ファスナーエレメント列の裏面側に配置される下板部を有し、前記上止裏面部は、前記スライド方向において前記下板部の上面に当接可能に対向したストッパー面を有し、前記ストッパー面は、前記下板部の上面に沿った形状とされていることが好ましい。

このような構成によれば、ストッパー面がスライダーの下板部の上面に沿

った形状とされているので、ストッパー面の全面を下板部の上面に当接させることができる。このため、スライダーが上止に当たる際の衝撃をストッパー面の全面に分散させることができ、前記ストッパー面の破損などのおそれを低減できる。

[0017] 本発明のスライドファスナーでは、前記スライダーは、前記各ファスナーエレメント列の表面側に配置される上板部と、前記各ファスナーエレメント列の裏面側に配置される下板部と、前記上板部および前記下板部をつないだ案内柱部とを有し、前記上止表面部の表外面から前記ファスナーテープの裏面までの寸法を寸法Aとし、前記上止表面部の表外面から前記上止裏面部の裏外面までの寸法を寸法Bとし、前記上板部の内面から前記下板部の内面までの寸法を寸法Cとした場合、寸法関係は $A < C < B$ であることが好ましい。

このような構成によれば、スライダーがファスナーエレメント列の一端部に配置された場合には、上止表面部をスライダーの上板部および下板部間に挿入できるとともに、上止裏面部をスライダーの下板部に当接させて当該スライダーを抜け止めできる。

[0018] 本発明のスライドファスナーでは、前記上止表面部の外側面は、前記ファスナーテープの幅方向外側に膨出した膨出部を有していることが好ましい。

このような構成によれば、スライドファスナーの閉鎖状態では、上止の膨出部と案内柱部との隙間を狭め、また、膨出部を案内柱部に当接させることができ、これにより、ファスナーテープの幅方向におけるスライダーのガタツキを抑制できる。

さらに、上止表面部および上止裏面部の連続部分も膨出部を含むので、当該連続部分を大きくできて上止の強度を高めることができる。

[0019] 本発明によれば、ファスナーテープから剥れにくく、かつストッパーとして機能する上止を従来よりも小さくすることができるスライドファスナーを提供できる。

図面の簡単な説明

[0020] [図1]本発明の実施形態に係るスライドファスナーを示す正面図。

[図2]前記実施形態に係るスライドファスナーの要部を示す正面図。

[図3]前記実施形態に係るスライドファスナーの要部を示す背面図。

[図4]図3に示すⅠⅤ－ⅠⅤ線に沿った断面図。

[図5]図3に示すⅤ－Ⅴ線に沿った断面図。

[図6]前記実施形態に係るスライドファスナーの上止およびスライダーを示す正面図。

[図7]図6に示す上止およびスライダーを示す背面図。

[図8]図6に示す上止およびスライダーを示す断面図。

[図9]図8に示すⅠⅩ－ⅠⅩ線に沿った断面図。

発明を実施するための形態

[0021] [本実施形態の構成]

以下、本発明の実施形態を図面に基づいて説明する。

図1において、本実施形態に係るスライドファスナー1は、第一ファスナーストリンガー2と、第二ファスナーストリンガー3と、第一ファスナーストリンガー2および第二ファスナーストリンガー3にスライド可能に連結されるスライダー4とを備えており、第一ファスナーストリンガー2および第二ファスナーストリンガー3は対をなしている。

なお、各図に示すX、Y、Z方向は互いに直交している。本実施形態では、X方向はスライドファスナー1の長手方向に沿った方向であり、Y方向はスライドファスナー1の幅方向に沿った方向であり、Z方向はスライドファスナー1の厚さ方向に沿った方向である。また、後述するスライド方向とは、第一ファスナーストリンガー2および第二ファスナーストリンガー3に連結されたスライダー4の移動可能方向であり、スライド方向の前方とはスライダー4を移動させることで、ファスナーエレメント列24、34が係合する方向であり、図1に示すX方向の上方である。また、スライド方向の後方とはスライダー4を移動させることで、ファスナーエレメント列24、34が解除する方向であり、図1に示すX方向の下方である。

[0022] 第一ファスナーストリンガー 2 は、X 方向に延びたファスナーテープ 2 1 と、ファスナーテープ 2 1 の幅方向外側（図 1 において右側）における側縁部 2 2 に沿ったファスナーエレメント列 2 4 とを有している。ファスナーテープ 2 1 の側縁部 2 2 には、芯紐部 2 3 が設けられている。ファスナーエレメント列 2 4 は、合成樹脂製の線条ファスナーエレメント 2 5（エレメント）が X 方向に沿って複数並んで構成されており、線条ファスナーエレメント 2 5 は、縫糸（図示省略）によってファスナーテープ 2 1 に縫い付けられている。

[0023] ファスナーエレメント列 2 4 の図 1 に示す上端部 2 4 A（一端部）には、合成樹脂製の上止 2 6 が配置されている。ファスナーエレメント列 2 4 の図 1 に示す下端部 2 4 B（他端部）側には、蝶棒 2 8 が配置されている。

上止 2 6 および蝶棒 2 8 は、ポリアミド、ポリアセタール、ポリプロピレン、ポリブチレンテレフタレート等の熱可塑性樹脂が射出成形されることによってそれぞれ構成されている。

[0024] 上止 2 6 は、図 2～図 5 に示すように、上止表面部 2 6 1 と、上止表面部 2 6 1 に連続した上止裏面部 2 7 1 とを有しており、図 5 に示すように、ファスナーテープ 2 1 の側縁部 2 2 を跨いで断面略 C 字状に形成されている。上止表面部 2 6 1 は、上止裏面部 2 7 1 よりも Z 方向における肉厚が厚く形成されている。

[0025] 上止表面部 2 6 1 は、Z 方向において互いに対向した表外面 2 6 2 および表内面 2 6 3 と、表外面 2 6 2 および表内面 2 6 3 の周縁に配置された外側面 2 6 4、内側面 2 6 5、上端面 2 6 6 および下端面 2 6 7 とを有している。外側面 2 6 4 および内側面 2 6 5 は Y 方向において互いに対向して配置されており、外側面 2 6 4 はファスナーテープ 2 1 の幅方向外側に配置され、内側面 2 6 5 はファスナーテープ 2 1 の幅方向内側に配置されている。上端面 2 6 6 および下端面 2 6 7 は X 方向において互いに対向して配置されている。

[0026] 上止表面部 2 6 1 の表内面 2 6 3 のうち側縁部 2 2 よりもファスナーテー

プ21の幅方向内側に位置する部分は、ファスナーテープ21の表面21Aに付着されている。また、上止表面部261は、ファスナーエレメント列24の上端部24Aを構成している線条ファスナーエレメント25を保持する保持部268と、上止26の厚さ方向において上止裏面部271と対向した対向部269とを有している。保持部268の内部には、前述した線条ファスナーエレメント25が埋め込まれている。対向部269は、図2において保持部268に対してX方向の上方に配置されている。

[0027] 上止裏面部271は、上止表面部261の表内面263のうち外側面264側上部に連続した基端272側の連続部分273から内側面265側に向かってY方向に沿って延出して形成されている。上止裏面部271の上面274は、上止26の厚さ方向において上止表面部261の上端面266に沿って配置されており、上止裏面部271の先端275は、上止26の厚さ方向において上止表面部261の内側面265に沿った位置に配置されている。また、上止裏面部271の下面は、スライダ4の後述する下板部412の上面412Cに当接するストッパー面276として構成されている。ストッパー面276は、X方向において前述した保持部268よりも上方に位置している。

この上止裏面部271の裏内面278は、ファスナーテープ21の裏面21Bに付着されている。

[0028] さらに、上止裏面部271は、その基端272側から先端275側に向かって幅が広がっている。これにより、基端272側よりも先端275側におけるファスナーテープ21への付着面積が広がっている。

[0029] 上止表面部261の外側面264には、ファスナーテープ21の幅方向外側に膨出した膨出部264Aが形成されており、この膨出部264Aに前述した連続部分273が配置されている。このため、上止表面部261および上止裏面部271の連続部分273は、ファスナーテープ21の幅方向外側に膨出した膨出部264Aを構成している。

[0030] 第二ファスナーストリンガー3は、X方向に延びたファスナーテープ31

と、ファスナーテープ３１の幅方向外側（図１において左側）における側縁部３２に沿ったファスナーエレメント列３４とを有している。ファスナーテープ３１の側縁部３２には、芯紐部３３が設けられている。ファスナーエレメント列３４は、合成樹脂製の線条ファスナーエレメント３５（エレメント）がＸ方向に沿って複数並んで構成されており、線条ファスナーエレメント３５は、縫糸（図示省略）によってファスナーテープ３１に縫い付けられている。

[0031] ファスナーエレメント列３４の図１に示す上端部３４Ａ（一端部）には、合成樹脂製の上止３６が配置されている。ファスナーエレメント列３４の図１に示す下端部３４Ｂ（他端部）側には、箱棒３８および箱体３９が配置されている。

上止３６と、箱棒３８および箱体３９とは、ポリアミド、ポリアセタール、ポリプロピレン、ポリブチレンテレフタレート等の熱可塑性樹脂が射出成形されることによってそれぞれ構成されている。

なお、箱棒３８および箱体３９と前述した蝶棒２８とによって開き具が構成されている。

[0032] 上止３６は、図２に示すように、前述した上止２６と概略同様であって左右逆向きに構成されているが、上止２６よりもＸ方向における寸法が小さくされている。

この上止３６は、図２，３に示すように、上止表面部３６１と、上止表面部３６１に連続した上止裏面部３７１とを有しており、断面略Ｃ字状に形成されている。上止表面部３６１は、上止裏面部３７１よりもＺ方向における肉厚が厚く形成されている。

[0033] 上止表面部３６１は、Ｚ方向において互いに対向した表外面３６２および表内面３６３と、表外面３６２および表内面３６３の周縁に配置された外側面３６４、内側面３６５、上端面３６６および下端面３６７とを有している。外側面３６４および内側面３６５はＹ方向において互いに対向して配置されており、外側面３６４はファスナーテープ３１の幅方向外側に配置され、

内側面 365 はファスナーテープ 31 の表面 31A に付着されている。また、上止表面部 361 は、ファスナーエレメント列 34 の上端部 34A を構成している線条ファスナーエレメント 35 を保持する保持部 368 と、上止 36 の厚さ方向において上止裏面部 371 と対向した対向部 369 とを有している。保持部 368 の内部には、前述した線条ファスナーエレメント 35 が埋め込まれている。対向部 369 は、図 2 において保持部 268 に対して X 方向の上方に配置されている。

[0034] 上止裏面部 371 は、上止表面部 361 の表内面 363 のうち外側面 364 側上部に連続した基端 372 側の連続部分 373 から内側面 365 側に向かって Y 方向に沿って延出して形成されている。上止裏面部 371 の上面 374 は、上止 36 の厚さ方向において上止表面部 361 の上端面 366 に沿って配置されており、上止裏面部 371 の先端 375 は、上止 36 の厚さ方向において上止表面部 361 の内側面 365 に沿った位置に配置されている。また、上止裏面部 371 の下面は、スライダ 4 の後述する下板部 412 の上面 412C に当接するストッパー面 376 として構成されている。ストッパー面 376 は、X 方向において前述した保持部 368 よりも上方に位置している。

この上止裏面部 371 の裏内面（図示省略）は、ファスナーテープ 31 の裏面 31B に付着されている。

[0035] さらに、上止裏面部 371 は、その基端 372 側から先端 375 側に向かって幅が広がっている。これにより、基端 372 側よりも先端 375 側におけるファスナーテープ 21 への付着面積が広がっている。

[0036] 上止表面部 361 の外側面 364 には、ファスナーテープ 31 の幅方向外側に膨出した膨出部 364A が形成されており、この膨出部 364A に前述した連続部分 373 が配置されている。このため、上止表面部 361 および上止裏面部 371 の連続部分 373 は、ファスナーテープ 31 の幅方向外側に膨出した膨出部 364A を構成している。

[0037] スライダ 4 は、図 6～図 9 に示すように、胴体 41 と、柱 42 と、引手

4 3 とを備えている。柱 4 2 は、後述する上板部 4 1 1 の外面 4 1 1 A に形成されており、この柱 4 2 に前述した引手 4 3 が取り付けられている。

[0038] 胴体 4 1 は、Z 方向においてファスナーエレメント列 2 4, 3 4 の表面側に配置される上板部 4 1 1 と、Z 方向においてファスナーエレメント列 2 4, 3 4 の裏面側に配置される下板部 4 1 2 と、上板部 4 1 1 および下板部 4 1 2 をつないだ案内柱部 4 1 3 とを有している。上板部 4 1 1 の内面 4 1 1 B および下板部 4 1 2 の内面 4 1 2 B 間には、ファスナーエレメント列 2 4, 3 4 が挿通される挿通溝 4 5 が形成されている。

[0039] 上板部 4 1 1 の上面 4 1 1 C のうち、図 6 に示す左右方向における中間位置よりも左側部分は、左下下がりとされた湾曲面によって形成されている。ここで、上止表面部 2 6 1 の上端面 2 6 6 も図 6 に示すように左下下がりとされた湾曲面によって形成されているので、上止 2 6 が挿通溝 4 5 に挿入された状態では、上端面 2 6 6 が上面 4 1 1 C の左側部分に沿った意匠を構成できる。

[0040] 上板部 4 1 1 の上面 4 1 1 C のうち、図 6 に示す左右方向における中間位置よりも右側部分は右下下がりとされた湾曲面によって形成されている。ここで、上止表面部 3 6 1 の上端面 3 6 6 も図 6 に示すように右下下がりとされた湾曲面によって形成されているので、上止 3 6 が挿通溝 4 5 に挿入された状態では、上端面 3 6 6 が上面 4 1 1 C の右側部分に沿った意匠を構成できる。

また、上板部 4 1 1 の幅方向（Y 方向）における両縁部にはフランジ 4 1 1 D（図 9 参照）が形成されている。

[0041] 下板部 4 1 2 の上面 4 1 2 C のうち、図 7 に示す左右方向における中間位置よりも右側部分は右下下がりとされた湾曲面によって形成されている。ここで、上止裏面部 2 7 1 のストッパ一面 2 7 6 も図 7 に示すように右下下がりとされた湾曲面によって形成されているので、上止 2 6 が挿通溝 4 5 に挿入された状態では、ストッパ一面 2 7 6 が下板部 4 1 2 の上面 4 1 2 C の右側部分に沿って当接する。

上止裏面部 271 のストッパ一面 276 が下板部 412 の上面 412C に沿って当接することで、スライダ 4 とストッパ一面 276 とが当接する際の衝撃をストッパ一面 276 の全面で分散して受けることができ、ストッパ一面 276 の破損などのおそれを低減できる。

[0042] 下板部 412 の上面 412C のうち、図 7 の左右方向における中間位置よりも左側部分は左下下がりとされた湾曲面によって形成されている。ここで、上止裏面部 371 のストッパ一面 376 も図 7 に示すように左下下がりとされた湾曲面によって形成されているので、上止 36 が挿通溝 45 に挿入された状態では、ストッパ一面 376 が下板部 412 の上面 412C の左側部分に沿って当接する。

上止裏面部 371 のストッパ一面 376 が下板部 412 の上面 412C に沿って当接することで、スライダ 4 とストッパ一面 376 とが当接する際の衝撃をストッパ一面 376 の全面で分散して受けることができ、ストッパ一面 376 の破損などのおそれを低減できる。

また、下板部 412 の幅方向（Y 方向）における両縁部には、フランジ 412D（図 8 参照）が形成されている。

[0043] 案内柱部 413 は、図 8 に示すように、上板部 411 および下板部 412 間の上部であって図 8 の左右方向における中間位置に形成されている。案内柱部 413 は、挿通溝 45 を、ファスナーエレメント列 24 が挿通する図 8 において左側の挿通溝 45A とファスナーエレメント列 34 が挿通する図 8 において右側の挿通溝 45B とに区画している。

図 8 に示すように挿通溝 45A、45B に上止 26、36 がそれぞれ挿入された状態では、案内柱部 413 と上止 26、36 との隙間は膨出部 264A、364A によって狭められている。なお、膨出部 264A、364A は案内柱部 413 に当接していてもよい。これにより、スライダ 4 の左右方向におけるガタツキは抑制される。

[0044] 図 9 に示すように、上止表面部 261 の表外面 262 からファスナーテープ 21 の裏面 21B までの Z 方向における寸法（保持部 268 の表外面から

ファスナーテープ 2 1 の裏面 2 1 B までの寸法) を寸法 A とし、上止表面部 2 6 1 の表外面 2 6 2 から上止裏面部 2 7 1 の裏外面 2 7 7 までの Z 方向における寸法 (対向部 2 6 9 の表外面から上止裏面部 2 7 1 の裏外面までの寸法) を寸法 B とし、上板部 4 1 1 の内面 4 1 1 B から下板部 4 1 2 の内面 4 1 2 B までの Z 方向における寸法を寸法 C とした場合、寸法関係は $A < C < B$ である。

[0045] また、上止表面部 2 6 1 の表外面 2 6 2 からファスナーテープ 2 1 の表面 2 1 A までの Z 方向における寸法 (保持部 2 6 8 の表外面からファスナーテープ 2 1 の表面 2 1 A までの寸法) を寸法 A 1 とし、上止表面部 2 6 1 の表外面 2 6 2 からファスナーテープ 2 1 の表面 2 1 A までの Z 方向における寸法 (対向部 2 6 9 の表外面からファスナーテープ 2 1 の表面 2 1 A までの寸法) を寸法 B 1 とし、上板部 4 1 1 の内面 4 1 1 B からファスナーテープ 2 1 の表面 2 1 A までの Z 方向における寸法を寸法 C 1 とした場合、寸法関係は $A 1 = B 1 < C 1$ である (なお、 $B 1 < A 1 < C 1$ であってもよい)。

[0046] さらに、上止裏面部 2 7 1 の裏外面 2 7 7 からファスナーテープ 2 1 の裏面 2 1 B までの Z 方向における寸法を寸法 B 2 とし、下板部 4 1 2 の内面 4 1 2 B からファスナーテープ 2 1 の裏面 2 1 B までの Z 方向における寸法を寸法 C 2 とした場合、寸法関係は、 $C 2 < B 2$ である。

[0047] なお、上止 2 6 の厚さ方向において保持部 2 6 8 (図 4 参照) に対向する裏面側の部分には後述する変形例におけるスライダー挿入部がないため、当該部分における上止裏面部の厚さ寸法 A 2 は「0」である。また、スライダー挿入部がある場合、寸法関係は $A 2 < C 2 < B 2$ とされる。

[0048] このため、上止裏面部 2 7 1 (3 7 1) は、スライダー 4 のスライド方向において当該スライダー 4 の下板部 4 1 2 の上面 4 1 2 C に当接可能に対向し、配置される。

このように寸法関係が設定されているので、上止 2 6 の上止表面部 2 6 1 は、挿通溝 4 5 A に挿入され、上止裏面部 2 7 1 のストッパー面 2 7 6 は、下板部 4 1 2 の上面 4 1 2 C に当接する。また、前述同様に、上止 3 6 の上

止表面部 361 は、挿通溝 45B に挿入され、上止裏面部 371 のストッパ一面 376 は、下板部 412 の上面 412C に当接する。これらの当接部によってスライダ 4 が上止 26, 36 よりもスライド方向前方へのスライドが規制され、この規制によってスライダ 4 が抜け止めされる。

[0049] [本実施形態の効果]

(1) 前記実施形態では、スライドファスナー 1 は、ファスナーテープ 21, 31 およびファスナーテープ 21, 31 の側縁部 22, 32 に沿ったファスナーエレメント列 24, 34 を有した一対のファスナーストリンガー 2, 3 と、各ファスナーエレメント列 24, 34 に連結されるスライダ 4 とを備え、各ファスナーエレメント列 24, 34 の上端部 24A, 34A に上止 26, 36 がそれぞれ配置されたスライドファスナー 1 であって、上止 26, 36 は、上止表面部 261, 361 と、上止表面部 261, 361 に連続した上止裏面部 271, 371 を有し、上止表面部 261, 361 は、ファスナーテープ 21, 31 の表面 21A, 31A に付着され、上止裏面部 271, 371 は、ファスナーテープ 21, 31 の裏面 21B, 31B に付着され、上止裏面部 271, 371 は、スライダ 4 のスライド方向において当該スライダ 4 に当接可能に対向し、配置されることを特徴とする。

上記構成を有するため、上止 26, 36 が、ファスナーテープ 21, 31 の表面 21A, 31A および裏面 21B, 31B に付着された上止表面部 261, 361 および上止裏面部 271, 371 を有しているので、例えば上止裏面部 271, 371 がない上止と比べて、上止 26, 36 をファスナーテープ 21, 31 から剥れにくい構成にできる。また、スライダ 4 がスライドしてファスナーエレメント列 24, 34 の上端部 24A, 34A に配置される場合には、スライド方向においてスライダ 4 に対向して配置された上止裏面部 271, 371 が当該スライダ 4 に当接するので、当該スライダ 4 のスライドを規制できる。このように、上止裏面部 271, 371 の構成によって、ファスナーテープ 21, 31 から剥れにくくでき、かつストッパとして機能させることができるので、ファスナーテープ 21, 31 が

ら剥れにくくする構成とストッパーとして機能する構成とを別部分で構成する必要がなくなり、上止 26, 36 を小さくすることができる。

[0050] (2) 上止表面部 261, 361 は、ファスナーエレメント列 24, 34 の上端部 24A, 34A を構成する線条ファスナーエレメント 25, 35 が埋め込まれた保持部 268, 368 と、上止 26, 36 の厚さ方向において上止裏面部 271, 371 と対向した対向部 269, 369 とを有し、保持部 268, 368 および対向部 269, 369 は、スライド方向において異なる位置に配置されている。

このため、スライド方向において保持部 268, 368 と異なる位置に配置された対向部 269, 369 の裏側に上止裏面部 271, 371 が対向して配置されるので、線条ファスナーエレメント 25, 35 が埋め込まれた保持部 268, 368 よりもファスナーテープ 21, 31 から剥れやすい対向部 269, 369 を上止裏面部 271, 371 によって補強でき、対向部 269, 369 がファスナーテープ 21, 31 から剥れることを抑制できる。

[0051] (3) 対向部 269, 369 は、スライダー 4 のスライド方向において保持部 268, 368 よりも前方に配置されている。

このため、スライダー 4 が上止裏面部 271, 371 に当接した状態で上止表面部 261, 361 のうち対向部 269, 369 よりも、スライダー 4 のスライド方向において後方に位置する部分をスライダー 4 内に収めることができる。

[0052] (4) ファスナーテープ 21, 31 の表面 21A, 31A のうち保持部 268, 368 が付着された部分に対向する裏面 21B, 31B の部分は、露呈している。

このため、線条ファスナーエレメント 25, 35 が埋め込まれてファスナーテープ 21, 31 から剥れにくい箇所である保持部 268, 368 の裏側から上止裏面部 271, 371 をなくすことができ、上止 26, 36 を小型化できる。

[0053] (5) 上止表面部 261, 361 は、ファスナーテープ 21, 31 の幅方向

外側に配置された外側面 264, 364 と、ファスナーテープ 21, 31 の幅方向内側に配置された内側面 265, 365 とを有し、上止裏面部 271, 371 は、上止表面部 261, 361 の外側面 264, 364 側から上止表面部 261, 361 の内側面 265, 365 側に向かって延出して形成され、上止裏面部 271, 371 の先端 275, 375 は、上止 26, 36 の厚さ方向において上止表面部 261, 361 の内側面 265, 365 に沿った位置に配置されている。

このため、上止裏面部 271, 371 の先端 275, 375 が、上止 26, 36 の厚さ方向において上止表面部 261, 361 の内側面 265, 365 に沿った位置に配置されているので、ファスナーテープ 21, 31 の幅方向において上止表面部 261, 361 および上止裏面部 271, 371 のうちの一方が他方に対して突出した部分が形成されなくなる。このように突出した部分を形成しないので、当該突出した部分に付着されたファスナーテープ 21, 31 の部分が上止表面部 261, 361 および上止裏面部 271, 371 の他方に支えられずに剥れてしまうことがなくなる。

[0054] (6) 上止裏面部 271, 371 は、その基端 272, 372 側から先端 275, 375 側に向かうに従って幅が広がっている。

このため、上止裏面部 271, 371 の先端 275, 375 側は、上止表面部 261, 361 と連続している基端 272, 372 側から離間しているため、上止裏面部 271, 371 の基端 272, 372 側と比べてファスナーテープ 21, 31 からの剥れにくさが低下するが、上止裏面部 271, 371 の先端 275, 375 側における幅寸法を大きくしてファスナーテープ 21, 31 に対する付着面積を広げることで、上止裏面部 271, 371 の先端 275, 375 側の部分をファスナーテープ 21, 31 から剥れにくくできる。

[0055] (7) 上止裏面部 271, 371 は、その基端 272, 372 側から先端 275, 375 側に向かうに従ってスライド方向において後方に位置し、図 7 に示すとおり、スライド方向後方を下方とするなら、下下がりの形状となっ

ている。

このため、スライダー４がスライドファスナー１を閉めるスライド方向に移動され、前記上止裏面部２７１，３７１に当接すると、各上止２６，３６には、そのスライド方向前方側がファスナーテープ２１，３１の幅方向内側に向かうとともに、そのスライド方向後方側がファスナーテープ２１，３１の幅方向外側に向かう回転力が生じて、上止２６，３６の下部同士でスライダー４の案内柱部４１３を挟み込むので、スライダー４のガタツキを抑制できる。

- [0056] （８）スライダー４は、各ファスナーエレメント列２４，３４の裏面側に配置される下板部４１２を有し、上止裏面部２７１，３７１は、スライド方向において下板部４１２の上面４１２Ｃに当接可能に対向したストッパー面２７６，３７６を有し、ストッパー面２７６，３７６は、下板部４１２の上面４１２Ｃに沿った形状とされている。

このため、ストッパー面２７６，３７６がスライダー４の下板部４１２の上面４１２Ｃに沿った形状とされているので、ストッパー面２７６，３７６の全面を下板部４１２の上面４１２Ｃに当接させることができる。このため、スライダー４が上止２６，３６に当たる際の衝撃をストッパー面２７６，３７６の全面に分散させることができ、上止２６，３６の破損を防止できる。

- [0057] （９）スライダー４は、各ファスナーエレメント列２４，３４の表面側に配置される上板部４１１と、各ファスナーエレメント列２４，３４の裏面側に配置される下板部４１２と、上板部４１１および下板部４１２をつないだ案内柱部４１３とを有し、上止表面部２６１，３６１の表外面２６２，３６２からファスナーテープ２１，３１の裏面２１Ｂ，３１Ｂまでの寸法を寸法Ａとし、上止表面部２６１，３６１の表外面２６２，３６２から上止裏面部２７１，３７１の裏外面２７７，３７７までの寸法を寸法Ｂとし、上板部４１１の内面４１１Ｂから下板部４１２の内面４１２Ｂまでの寸法を寸法Ｃとした場合、寸法関係は $A < C < B$ である。

このため、スライダ－４がファスナーエレメント列２４，３４の上端部２４Ａ，３４Ａに配置された場合には、上止表面部２６１，３６１をスライダ－４の上板部４１１および下板部４１２間に挿入できるとともに、上止裏面部２７１，３７１をスライダ－４の下板部４１２に当接させて当該スライダ－４を抜け止めできる。

[0058] (１０) 上止表面部２６１，３６１の外側面２６４，３６４は、ファスナーテープ２１，３１の幅方向外側に膨出した膨出部２６４Ａ，３６４Ａを有している。

このため、スライドファスナー１の閉鎖状態では、上止２６，３６の膨出部２６４Ａ，３６４Ａと案内柱部４１３との隙間を狭め、また、膨出部２６４Ａ，３６４Ａを案内柱部４１３に当接させることができ、これにより、ファスナーテープ２１，３１の幅方向におけるスライダ－４のガタツキを抑制できる。

さらに、上止表面部２６１，３６１および上止裏面部２７１，３７１の連続部分２７３，３７３も膨出部２６４Ａ，３６４Ａを含むので、当該連続部分２７３，３７３を大きくできて上止２６，３６の強度を高めることができる。

[0059] [変形例]

本発明は、以上の実施形態で説明した構成のものに限定されず、本発明の目的を達成できる範囲での変形例は、本発明に含まれる。

例えば、前記実施形態では、上止裏面部２７１，３７１は、基端２７２，３７２側から延出し、先端２７５，３７５がＺ方向において上止表面部２６１，３６１の内側面２６５，３６５に沿った位置に配置されているが、これに限られない。例えば先端２７５，３７５は内側面２６５，３６５に対してＹ方向外側またはＹ方向内側に配置されていてもよい。

[0060] 前記実施形態では、上止裏面部２７１，３７１はバー状に延びて形成された全体部分でストッパー面２７６，３７６を形成しているが、これに限られない。例えば上止裏面部２７１，３７１にスライダ－４を接近させた際に、

挿通溝 4 5 A, 4 5 B への挿入を可能とする肉厚を薄く形成したスライダ挿入部を、前記保持部 2 6 8, 3 6 8 と対向するファスナーテープ 2 1, 3 1 の裏面 2 1 B, 3 1 B 側に設けてもよい。さらに、スライダ挿入部を除く上止裏面部 2 7 1, 3 7 1 を、スライダ挿入部よりもファスナーテープ 2 1, 3 1 の裏面 2 1 B, 3 1 B に対して垂直方向に突出させ、突出した当該上止裏面部 2 7 1, 3 7 1 がスライダ 4 の下板部 4 1 2 の上面 4 1 2 C に当接可能にスライド方向において当該上面 4 1 2 C に対向して配置されていてもよい。また、突出させた当該上止裏面部は、基端 2 7 2, 3 7 2 寄りに配置されてもよく、また、先端 2 7 5, 3 7 5 寄りに配置されてもよい。

スライダ挿入部を備えることで、スライダ 4 を上止 2 6, 3 6 に当接させた際に、スライダ挿入部が挿通溝 4 5 A, 4 5 B に嵌り込み、上止 2 6, 3 6 とスライダ 4 内部との隙間を小さくすることで、スライドファスナー 1 の厚さ方向におけるスライダ 4 のガタツキを抑制できる。

[0061] 前記実施形態では、上止裏面部 2 7 1, 3 7 1 は、上止表面部 2 6 1, 3 6 1 の対向部 2 6 9, 3 6 9 に対向して配置されているが、これに限られず、例えば上止表面部 2 6 1, 3 6 1 の保持部 2 6 8, 3 6 8 にも対向して配置されていてもよい。

[0062] 前記実施形態では、上止表面部 2 6 1, 3 6 1 は膨出部 2 6 4 A, 3 6 4 A を構成しているが、この膨出部 2 6 4 A, 3 6 4 A を構成していなくてもよい。

[0063] 前記実施形態では、上止 2 6, 3 6 の上端面 2 6 6, 3 6 6 は、スライダ 4 の上板部 4 1 1 の上面 4 1 1 C に沿った湾曲形状とされているが、これに限られずに異なる形状として種々の意匠を構成してもよい。

[0064] 前記実施形態では、上止 2 6, 3 6 は合成樹脂製であるが、これに限られず、例えば金属製であってもよい。

符号の説明

[0065] 1…スライドファスナー、2, 3…ファスナーストリンガー、2 1, 3 1…ファスナーテープ、2 1 A, 3 1 A…表面、2 1 B, 3 1 B…裏面、2 2

、 3 2 …側縁部、 2 3、 3 3 …芯紐部、 2 4、 3 4 …ファスナーエレメント列、 2 4 A、 3 4 A …上端部、 2 4 B、 3 4 B …下端部、 2 5、 3 5 …線条ファスナーエレメント、 2 6、 3 6 …上止、 2 6 1、 3 6 1 …上止表面部、 2 6 2、 3 6 2 …表外面、 2 6 3、 3 6 3 …表内面、 2 6 4、 3 6 4 …外側面、 2 6 4 A、 3 6 4 A …膨出部、 2 6 5、 3 6 5 …内側面、 2 6 6、 3 6 6 …上端面、 2 6 7、 3 6 7 …下端面、 2 6 8、 3 6 8 …保持部、 2 6 9、 3 6 9 …対向部、 2 7 1、 3 7 1 …上止裏面部、 2 7 2、 3 7 2 …基端、 2 7 3、 3 7 3 …連続部分、 2 7 4、 3 7 4 …上面、 2 7 5、 3 7 5 …先端、 2 7 6、 3 7 6 …ストッパー面、 2 7 7、 3 7 7 …裏外面、 2 7 8 …裏内面、 2 8 …蝶棒、 3 8 …箱棒、 3 9 …箱体、 4 …スライダー、 4 1 …胴体、 4 1 1 …上板部、 4 1 1 A …外面、 4 1 1 B、 4 1 2 B …内面、 4 1 1 C、 4 1 2 C …上面、 4 1 1 D、 4 1 2 D …フランジ、 4 1 2 …下板部、 4 1 3 …案内柱部、 4 2 …柱、 4 3 …引手、 4 5 (4 5 A、 4 5 B) …挿通溝、 A ～ C、 A 1 ～ C 1、 A 2 ～ C 2 …寸法。

請求の範囲

[請求項1] ファスナーテープ（２１，３１）および前記ファスナーテープ（２１，３１）の側縁部（２２，３２）に沿ったファスナーエレメント列（２４，３４）を有した一対のファスナーストリンガー（２，３）と、前記各ファスナーエレメント列（２４，３４）に連結されるスライダー（４）とを備え、前記各ファスナーエレメント列（２４，３４）の一端部（２４Ａ，３４Ａ）に上止（２６，３６）がそれぞれ配置されたスライドファスナー（１）であって、

前記上止（２６，３６）は、上止表面部（２６１，３６１）と、前記上止表面部（２６１，３６１）に連続した上止裏面部（２７１，３７１）を有し、

前記上止表面部（２６１，３６１）は、前記ファスナーテープ（２１，３１）の表面（２１Ａ，３１Ａ）に付着され、

前記上止裏面部（２７１，３７１）は、前記ファスナーテープ（２１，３１）の裏面（２１Ｂ，３１Ｂ）に付着され、

前記上止裏面部（２７１，３７１）は、前記スライダー（４）のスライド方向において前記スライダー（４）に当接可能に対向して配置される

ことを特徴とするスライドファスナー。

[請求項2] 前記上止表面部（２６１，３６１）は、前記ファスナーエレメント列（２４，３４）の一端部（２４Ａ，３４Ａ）を構成するエレメント（２５，３５）が埋め込まれた保持部（２６８，３６８）と、前記上止（２６，３６）の厚さ方向において前記上止裏面部（２７１，３７１）と対向した対向部（２６９，３６９）とを有し、

前記保持部（２６８，３６８）および前記対向部（２６９，３６９）は、前記スライド方向において異なる位置に配置されている

ことを特徴とする請求項１に記載のスライドファスナー。

[請求項3] 前記対向部（２６９，３６９）は、前記スライド方向において前記

保持部（２６８，３６８）よりも前方に配置されている

ことを特徴とする請求項２に記載のスライドファスナー。

[請求項４] 前記ファスナーテープ（２１，３１）の表面（２１Ａ，３１Ａ）のうち前記保持部（２６８，３６８）が付着された部分に対向する裏面（２１Ｂ，３１Ｂ）の部分は、露呈している

ことを特徴とする請求項３に記載のスライドファスナー。

[請求項５] 前記上止表面部（２６１，３６１）は、前記ファスナーテープ（２１，３１）の幅方向外側に配置された外側面（２６４，３６４）と、前記ファスナーテープ（２１，３１）の幅方向内側に配置された内側面（２６５，３６５）とを有し、

前記上止裏面部（２７１，３７１）は、前記上止表面部（２６１，３６１）の外側面（２６４，３６４）側から前記上止表面部（２６１，３６１）の内側面（２６５，３６５）側に向かって延出して形成され、

前記上止裏面部（２７１，３７１）の先端（２７５，３７５）は、前記上止（２６，３６）の厚さ方向において前記上止表面部（２６１，３６１）の内側面（２６５，３６５）に沿った位置に配置されている

ことを特徴とする請求項１から請求項４のいずれか一項に記載のスライドファスナー。

[請求項６] 前記上止裏面部（２７１，３７１）は、その基端（２７２，３７２）側から前記先端（２７５，３７５）側に向かうに従って幅が広がっている

ことを特徴とする請求項５に記載のスライドファスナー。

[請求項７] 前記上止裏面部（２７１，３７１）は、その基端（２７２，３７２）側から前記先端（２７５，３７５）側に向かうに従って前記スライド方向において後方に位置する形状となっている

ことを特徴とする請求項５または請求項６に記載のスライドファス

ナー。

[請求項8] 前記スライダー（４）は、前記各ファスナーエレメント列（２４，３４）の裏面側に配置される下板部（４１２）を有し、

前記上止裏面部（２７１，３７１）は、前記スライド方向において前記下板部（４１２）の上面（４１２Ｃ）に当接可能に対向したストッパー面（２７６，３７６）を有し、

前記ストッパー面（２７６，３７６）は、前記下板部（４１２）の上面（４１２Ｃ）に沿った形状とされている

ことを特徴とする請求項５または請求項６に記載のスライドファスナー。

[請求項9] 前記スライダー（４）は、前記各ファスナーエレメント列（２４，３４）の表面側に配置される上板部（４１１）と、前記各ファスナーエレメント列（２４，３４）の裏面側に配置される下板部（４１２）と、前記上板部（４１１）および前記下板部（４１２）をつないだ案内柱部（４１３）とを有し、

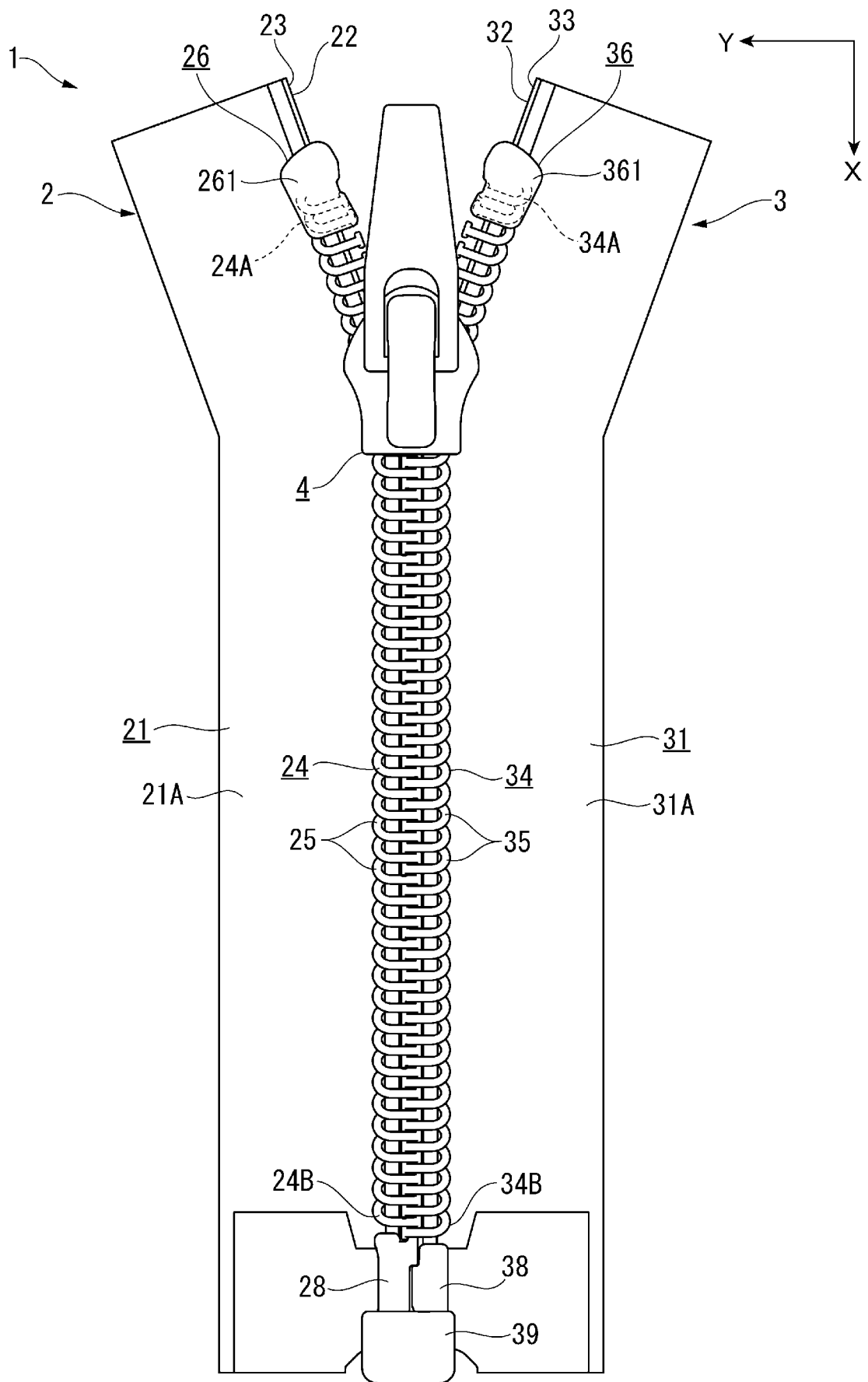
前記上止表面部（２６１，３６１）の表外面（２６２，３６２）から前記ファスナーテープ（２１，３１）の裏面（２１Ｂ，３１Ｂ）までの寸法を寸法Ａとし、前記上止表面部（２６１，３６１）の表外面（２６２，３６２）から前記上止裏面部（２７１，３７１）の裏外面（２７７，３７７）までの寸法を寸法Ｂとし、前記上板部（４１１）の内面４１１Ｂから前記下板部（４１２）の内面（４１２Ｂ）までの寸法を寸法Ｃとした場合、寸法関係は $A < C < B$ である

ことを特徴とする請求項１から請求項８のいずれか一項に記載のスライドファスナー。

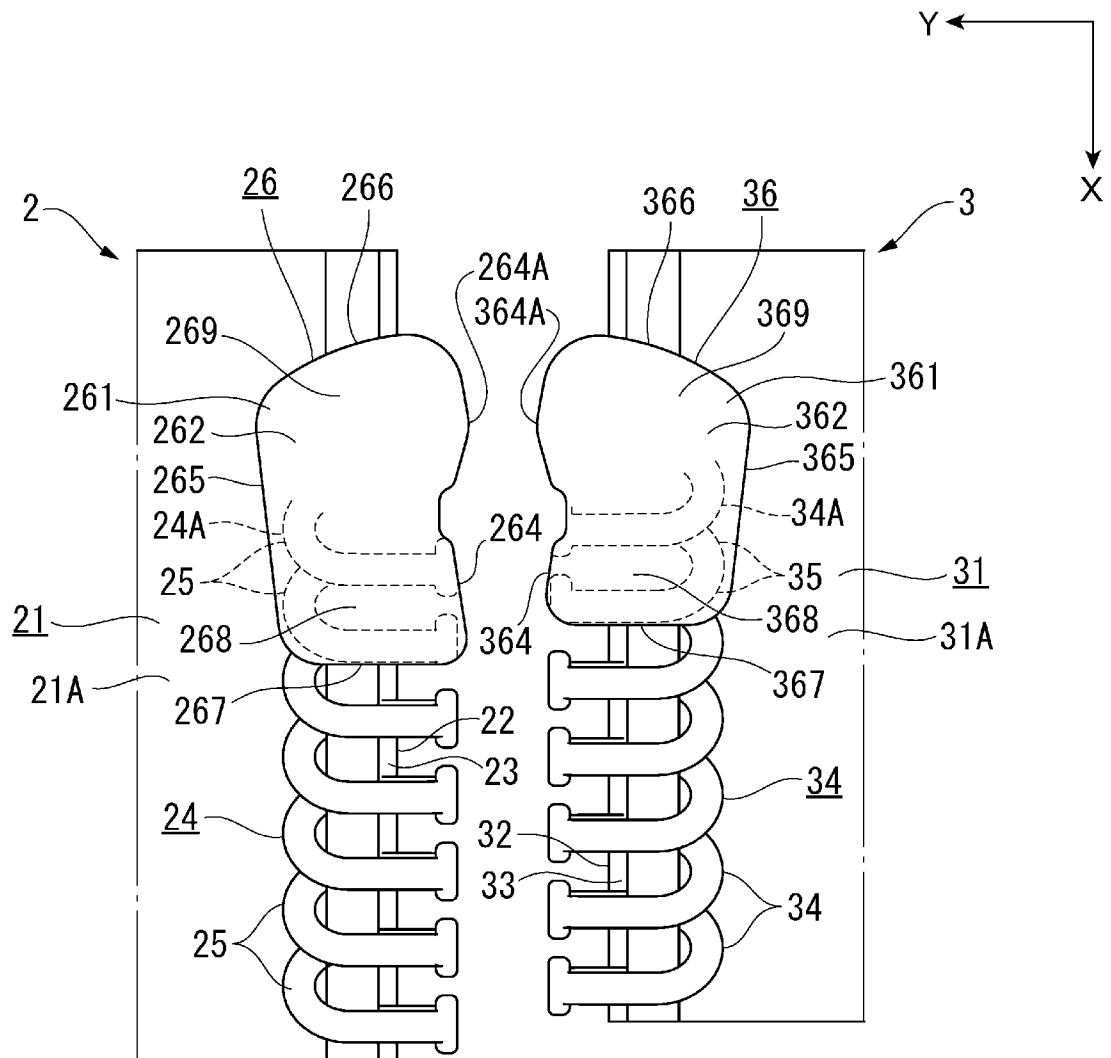
[請求項10] 前記上止表面部（２６１，３６１）の外側面（２６４，３６４）は、前記ファスナーテープ（２１，３１）の幅方向外側に膨出した膨出部（２６４Ａ，３６４Ａ）を有している

ことを特徴とする請求項９に記載のスライドファスナー。

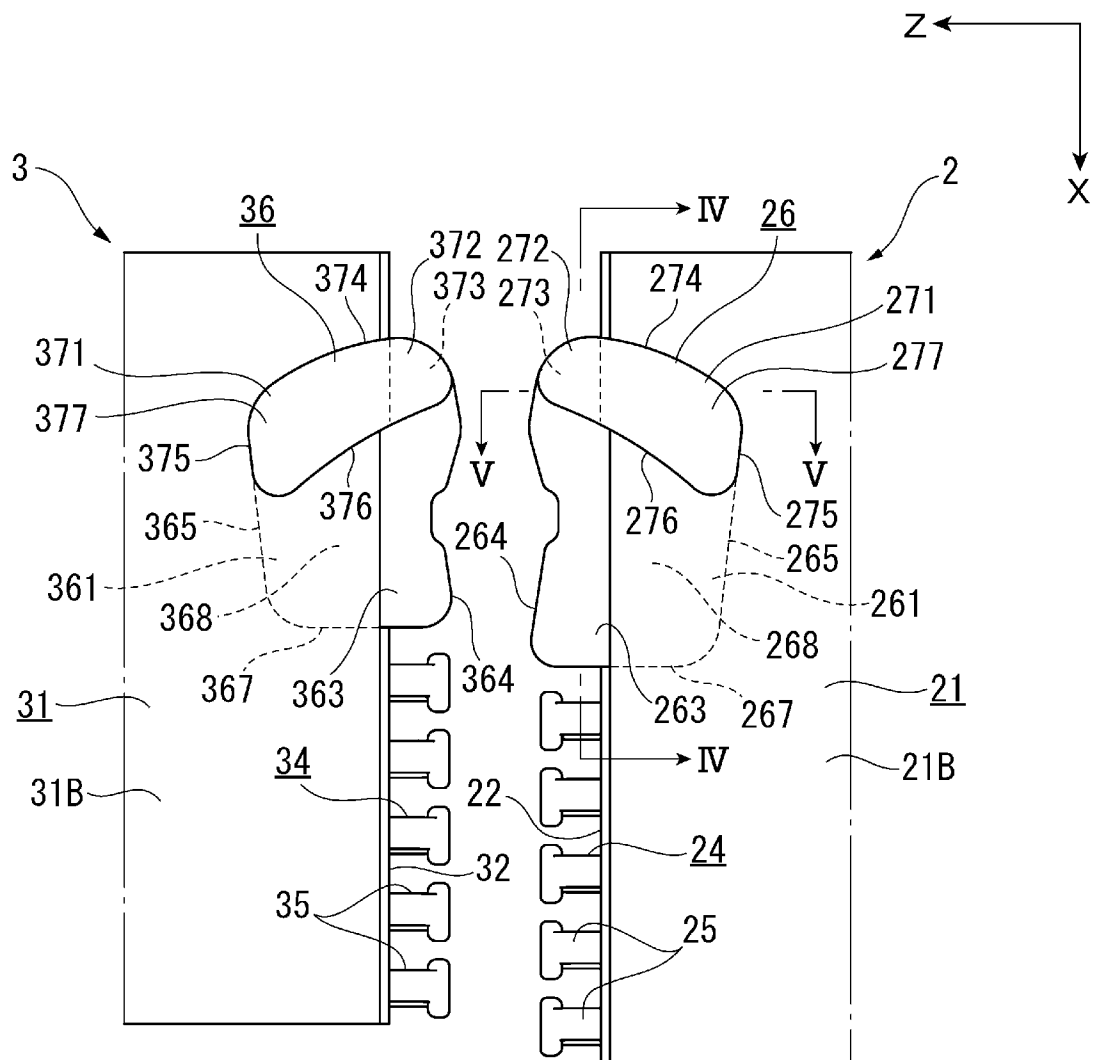
[図1]



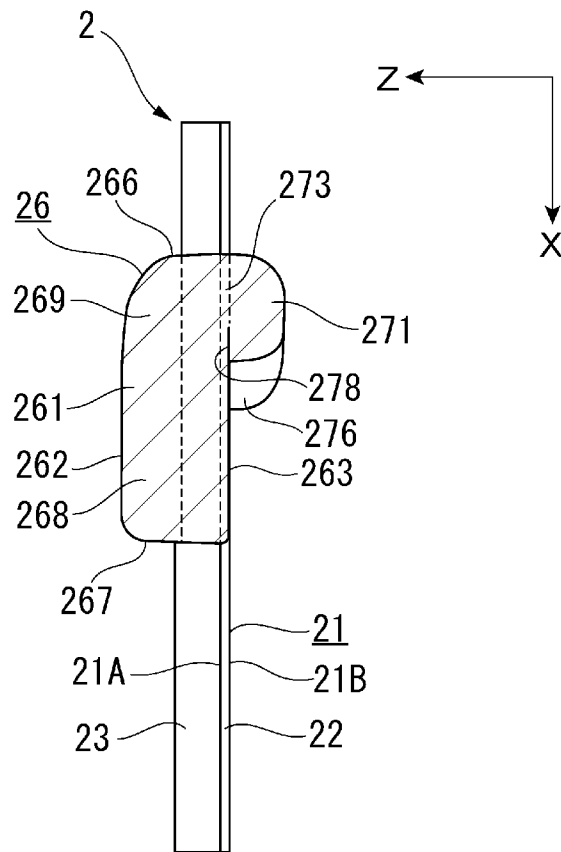
[図2]



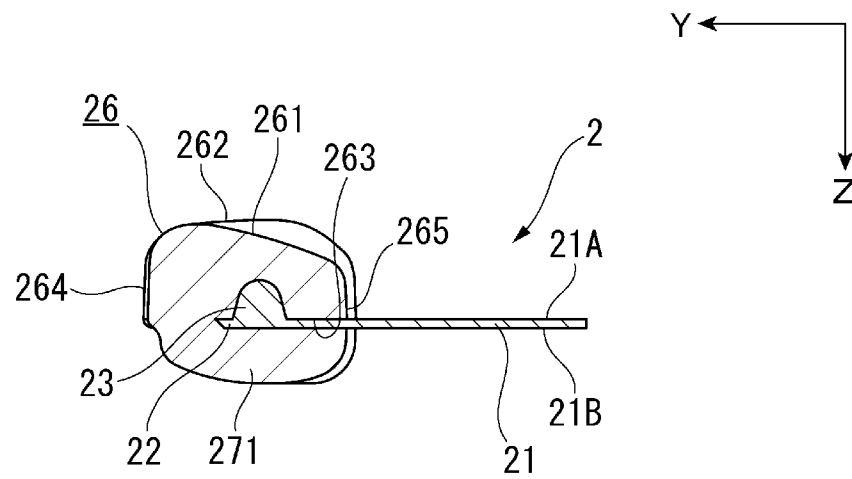
[図3]



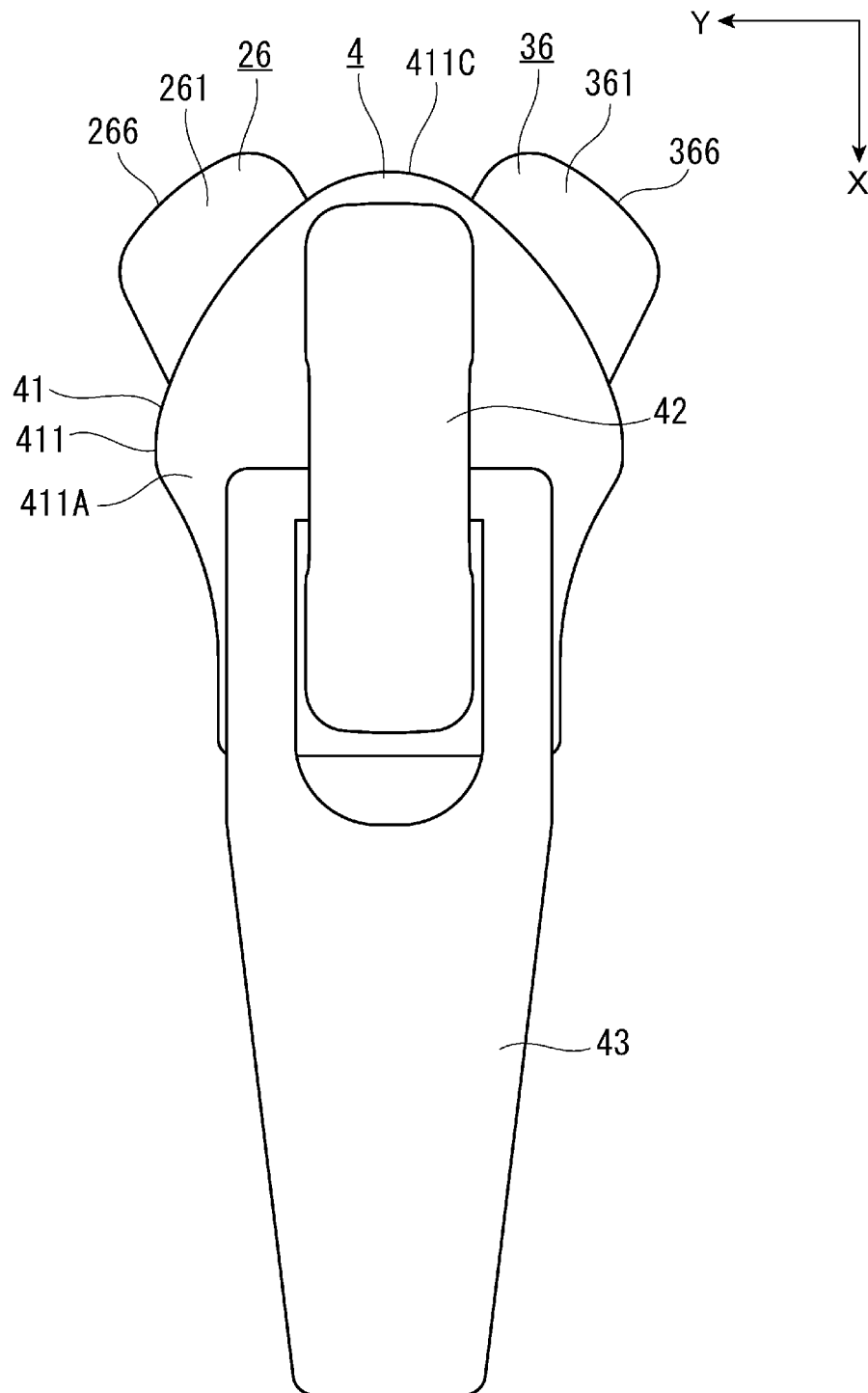
[図4]



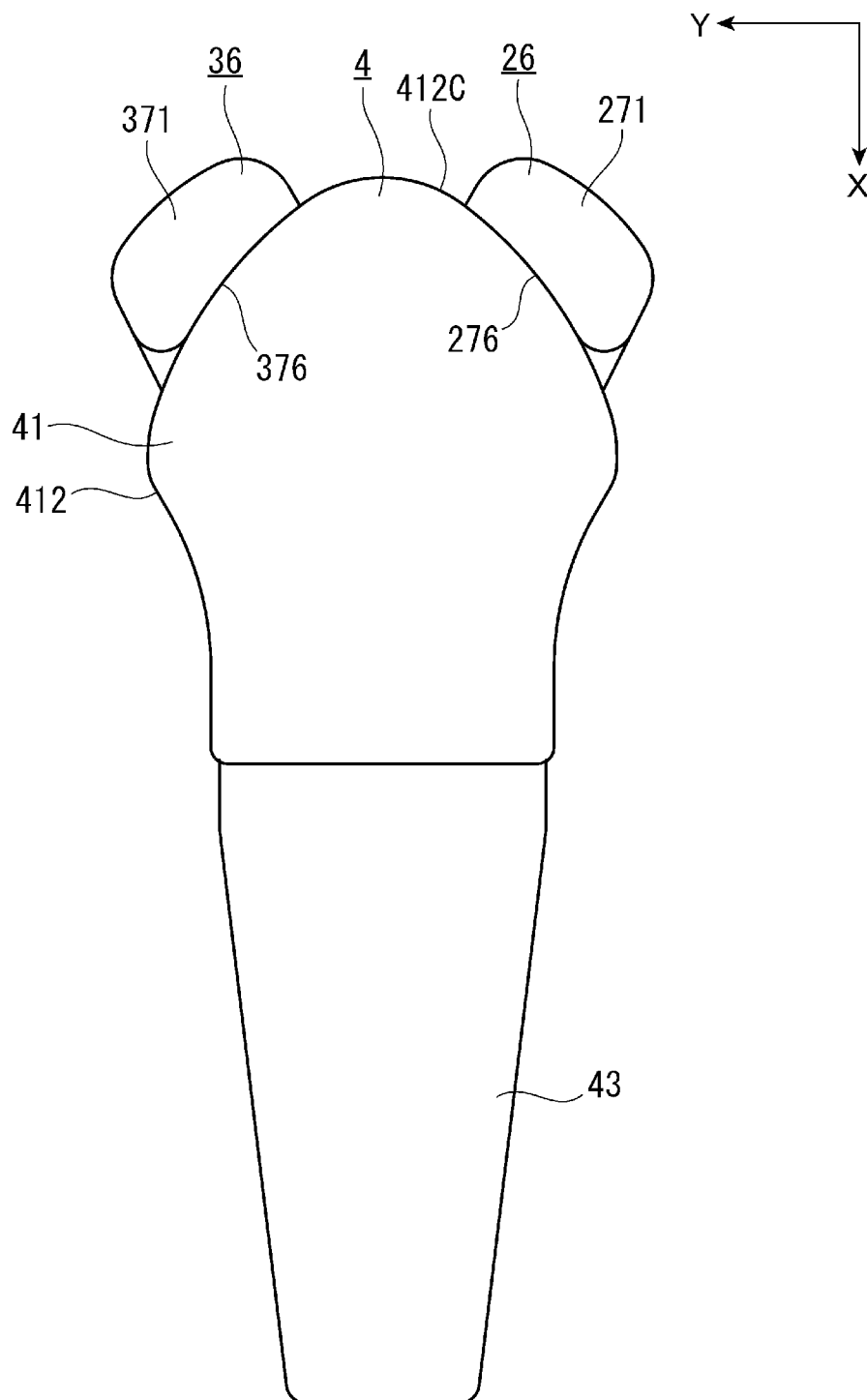
[図5]



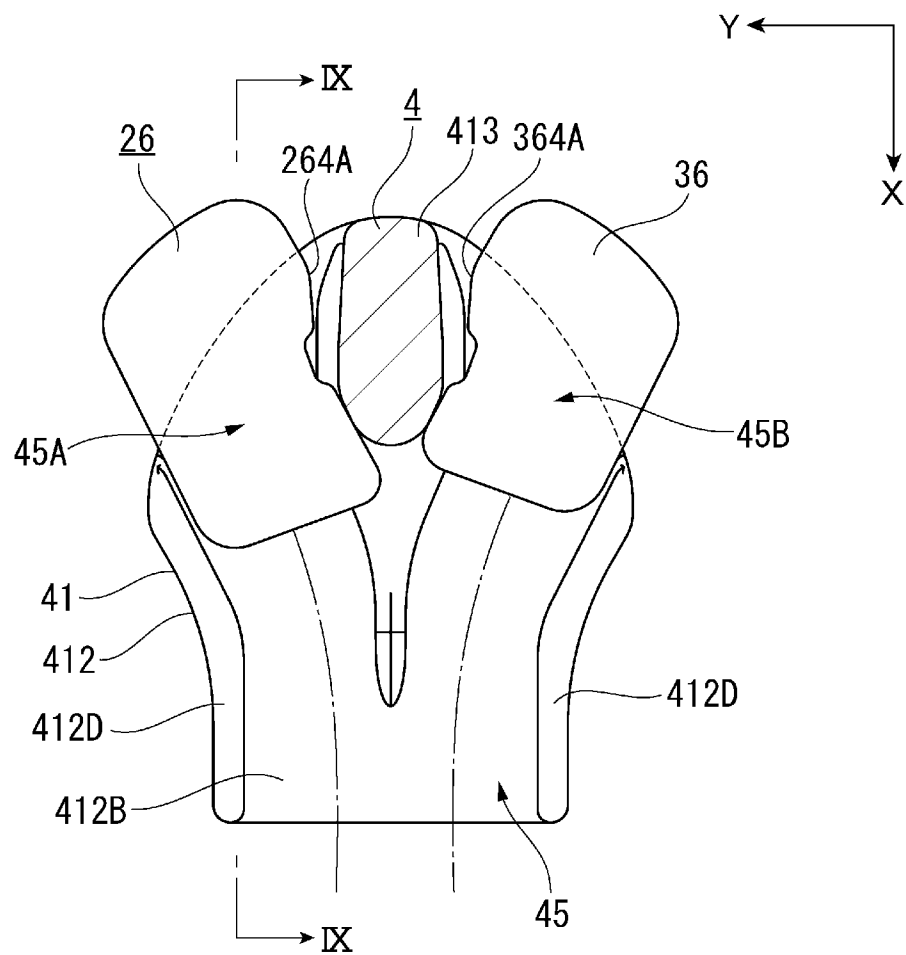
[図6]



[図7]



[図8]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2017/020907

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

A44B19/36(2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A44B19/36

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2017
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2017	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2017

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X A	WO 2014/167654 A1 (YKK Corp.), 16 October 2014 (16.10.2014), paragraphs [0069] to [0082]; fig. 9 to 14 & TW 201446175 A	1, 5 2-4, 6-10
X A	JP 3191897 U (YKK Corp.), 17 July 2014 (17.07.2014), paragraphs [0016] to [0039]; fig. 1 to 4, 7 to 8 (Family: none)	1, 5, 8-10 2-4, 6-7

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
 "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
 "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
 "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
 "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
 "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
 "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
 "&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
16 August 2017 (16.08.17)

Date of mailing of the international search report
29 August 2017 (29.08.17)

Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2017/020907

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2007-050234 A (YKK Corp.), 01 March 2007 (01.03.2007), paragraphs [0031] to [0047]; fig. 3 to 5 & US 2007/0017071 A1 paragraphs [0052] to [0068]; fig. 3 to 5 & EP 1745713 A1 & KR 10-2007-0011123 A & ES 2313579 T3 & HK 1095069 A1 & TW 200722000 A & CN 1899149 A	1-10

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl. A44B19/36 (2006.01) i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl. A44B19/36

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2017年
日本国実用新案登録公報	1996-2017年
日本国登録実用新案公報	1994-2017年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X A	WO 2014/167654 A1 (YKK株式会社) 2014.10.16, 段落 [0069] - [0082], [図 9] - [図 14] & TW 201446175 A	1, 5 2-4, 6-10
X A	JP 3191897 U (YKK株式会社) 2014.07.17, 段落 [0016] - [0039], [図 1] - [図 4], [図 7] - [図 8] (ファミリーなし)	1, 5, 8-10 2-4, 6-7

C欄の続きにも文献が列挙されている。

パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

16.08.2017

国際調査報告の発送日

29.08.2017

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)

郵便番号 100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

山本 杏子

3 B

4 4 2 0

電話番号 03-3581-1101 内線 3320

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2007-050234 A (Y K K株式会社) 2007.03.01, 段落 [0031] - [0047], [図 3] - [図 5] & US 2007/0017071 A1, 段落 [0052] - [0068], FIG. 3-5 & EP 1745713 A1 & KR 10-2007-0011123 A & ES 2313579 T3 & HK 1095069 A1 & TW 200722000 A & CN 1899149 A	1-10